

農家だより

令和 6 年
11 月

第 436 号

発行：和光市農業委員会・産業支援課

電話：048-424-9115

【 11月16日（土）・17日（日）は和光市民まつり農産物共進会 】



農産物共進会は、和光市の秋の実りを一堂に会して披露する農業の一大イベントです。

共進会は、農業者・農業委員・各集落支部・農業団体など皆様のご協力を得て盛大に実施します。

皆さんが丹精込めて育て上げた農産物を、大勢の市民に見て触れていただける貴重な機会ですので、是非ご参加ください！



☆ 飛び入り参加大歓迎！ ☆



出品申込をしていない方の当日参加も大歓迎です。

事前に各集落支部長に出品についてご連絡いただくか、当日出品を決めた場合等は16日（土）の搬入時間に直接会場までお持ちください。

例年に比べ、事前申込が少なくなっています。

共進会の成功には皆様のご協力が不可欠です。一品でも多くの出品をお待ちしています。

◎ おもしろ野菜も募集中

二股になった人参や大根などの、通常は出荷しない変わった形や大きさの野菜も引き続き募集中です。過去に採れた物の写真でも構いません。

◎農産物共進会当日スケジュール 会場：サンアゼリア小ホール

・11月16日（土）

09:30～11:00 出品農産物搬入（場所：市役所駐車場内：北側入口付近）

11:00～15:00 審査・受賞者決定

・11月17日（日）

10:00～11:30 出品農産物展示

10:10～10:50 優良農業者・共進会受賞者表彰式（場所：市役所市民広場）

※特別賞受賞者には表彰式出席のご案内を致します。

優秀賞、入賞の受賞者には後日、賞状と副賞をお届けします。

12:00～15:00 即売会（売り切れ次第終了）

◎農産物の出品方法

① 荷札（出品台帳）を用意してください

- ・ 事前申込された方へは、今月号の農家だよりと一緒に配付しています。
- ・ 事前申込していない方は、支部長にご連絡いただき、荷札を受け取ってください。
- ・ 当日飛び入り参加の方は、直接出品物をお持ちください。（受付時に荷札をお渡し）

荷札（出品台帳）

② 荷札の※印の欄に油性マジックかボールペンではっきりと記入してください。

世帯主氏名、出品者氏名、電話番号、品名を必ず記入してください。

水性ペンや鉛筆は文字がにじんで消えてしまい、審査ができなくなる恐れがあるので使用しないでください。

③ 荷札を出品物から離れないよう、付属の針金でしっかり取り付けてください

キャベツなどの荷札が取り付けにくい野菜は、箱に入れてくくり付けるなどして、外れないようにしてください。

○ 良い例



結束テープにくくりつける



箱にくくり付ける

× 悪い例



袋等の中に包んで入れるだけ



農産物と一緒に箱に入れるだけ

※出品規格は農家だより10月号をご覧ください。か産業支援課までご連絡ください。

④ 11月16日（土）9:30～11:00の搬入に間に合うよう、各支部長へお預けください

会場へ直接搬入する場合は搬入時間にご注意ください。9:30～11:00 以外は受付できません。

◎出品農産物の搬入口が昨年から変更になりました。

昨年の共進会では、搬入がサンアゼリア小ホール正面口でしたが、今年は裏面入口からになります。（北側の駐車場入口から入ってください）

下図をご確認いただき、お間違えの無いようご注意ください。



【 地域計画に伴う協議の場の結果を ホームページに掲載しました】

令和6年8月30日にアクシスで実施した協議の場の結果を和光市ホームページに掲載いたしました。詳細はホームページをご参照ください。



和光市ホームページ
地域計画 QR コード

【 土砂流出後の片付けにご協力ください 】

大雨の後、農地から流出した土砂に関する問合せが増えています。

住宅地に近い農地では流出土砂の影響が特に大きく、歩道を塞いだり、泥水の飛散で住宅や車が汚れたりなど、近隣住民とのトラブルを誘発します。

所有農地の状況は日頃からチェックしておき、流出防止措置をとっておくとともに、大雨の後などは現地確認と片付けをお願いします。

■主な土砂流出対策

- ◎土留めを高めに設置する
- ◎リュウノヒゲ等、土砂流出防止作物を植える
- ◎道路の境界付近は耕作しない
- ◎トラクター等で畑から出る際に道路に土を落とさない、落とした際は清掃する。

サツマイモ基腐病 まん延防止のための 栽培前の対策について

九州を中心に大きな被害を出しているサツマイモ基腐病が、県内で令和3年に初めて確認されました。

本病のまん延や次作の被害等を抑えるために、**サツマイモを栽培する前に以下の対策を徹底しましょう。**



▲感染し腐敗したイモ（下：断面）

サツマイモ基腐病とは

- ・病原菌 糸状菌の一種(カビ)
- ・生育温度 15～35℃(適温28～30度)
- ・寄宿主植物 ヒルガオ科(主にサツマイモ)
- ・症状 感染した株は茎の地際部が黒変～黒褐色に変色し、茎葉は黄色や紫色に変色して、症状が進むと壊死します。イモでは主に、なり首側(茎のつけ根側)から褐色～暗褐色に腐敗します。

サツマイモ栽培前の重要な対策

サツマイモ基腐病を「持ち込まない」対策

○ 健全な種イモや苗の確保

○ 種イモ及び苗の消毒

本病がまん延している地域の種イモや苗の使用は慎重に検討する。
種イモや苗は腐敗等が無い確認し、必ず適切に消毒する。

※ 詳しくは裏面の「栽培前の対策方法」を参照してください。

サツマイモ基腐病を「増やさない」対策

○ ほ場の排水対策の徹底



ほ場周囲等に排水溝を設置し、ほ場外への排水を促す。

サツマイモ基腐病を「残さない」対策

○ 適切な土壌消毒



使用基準を遵守し、必ずビニール等で被覆して行う。